

# 「インドネシア団結」内閣の陣容(下)

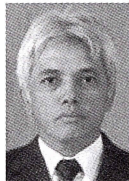
## —各省大臣(2)・国務大臣—

### 各省大臣(Ministers)

#### ■運輸相 Minister of Transportation

ハッタ・ラジャサ

Hatta Rajasa



ユドヨノ政権の与党連合(「人民連合」)に所属するイスラム政党、国民信託党(PAN:国会53議席)の幹事長。メガワティ前政権の約3年間、研究・技術担当国務相を務めたが、新政権でも現職に転任する形で閣内に留まった。

\* 鉱業コンサルタント会社経営からPANに参加し、99年総選挙で国会議員。メガワティ前政権の「キングメーカー」、アミン・ライス国民協議会(MPR)議長(当時:PAN党首)のワヒド元大統領に対する弾劾運動を補佐し、2001年8月の前政権成立に貢献した。前政権での初入閣はその「論功行賞」の意味合いもあった。

#### ▼データ

【年齢】51歳(1953年12月18日生まれ)  
 【生地】南スマトラ州パレンバン  
 【政党】国民信託党(PAN):幹事長  
 【人種】オガン・コメリン・イリール人  
 【宗教】イスラム教  
 【学歴】1980:バンドン工科大学(ITB)卒  
 【経歴】石油会社Medcoに入社、1982:鉱業コンサルタント会社(PT Arthindo Utama)を設立し代表取締役(-2000)。PANに参加(のち、同党幹事長)、1999:国会(DPR)議員、「改革党派」代表、DPR第8委員会(環境・科学・技術問題)委員、国民協議会(MPR)運営委員会委員、2001:[8月10日](メガワティ内閣)研究・技術担当国務相  
 2004:[10月21日](ユドヨノ内閣)運輸相  
 【家族】オクティニワティ(Oktiniwati Ulfa Dariah)夫人との間に4子  
 【横顔】ワヒド元大統領に対する弾劾運動では、その急先鋒を演じた「ヤング・タースク」とも「カウボーイ」とも呼ばれる超党派の若手議員グループの中心的メンバーだった。

#### ■農業相 Minister of Agriculture

アントン・アプリアントノ(博士)

Dr Anton Apriantono

食品科学・栄養学研究者(前職はボゴール農科大学教官)。ユドヨノ政権の与党連合

(「人民連合」)に所属するイスラム主義政党、福祉正義党(PKS:国会45議席)の推薦で入閣した。就任に際して、①食糧安全保障、②農民の福祉向上、③農業生産の付加価値向上、④農業関連産業振興を基本方針として表明した。

#### ▼データ

【年齢】45歳(1959年10月5日生まれ)  
 【生地】バンテン州セラン  
 【政党】福祉正義党(PKS)〈推薦〉  
 【人種】ジャワ人  
 【宗教】イスラム教  
 【学歴】ボゴール農科大学(IPB)卒、同大学修士号取得、英リーディング大学博士号(食品化学)取得  
 【経歴】前職:ボゴール農科大学教官(食品科学・栄養学)、国立シンガポール大学客員教授  
 【横顔】ユドヨノ大統領は最近、IPBから博士号を取得したが、同(アントン)氏は入閣前に大統領とは個人的な接点はまったくなかった。

#### ■林業相 Minister of Forestry

M・S・カバン

Malam Sambat Kaban

与党連合所属のイスラム主義政党、月星党(PBB:国会11議席)の幹事長で、入閣は「PBB枠」の政治人事とみてよい。農科大学(IPB)で修士号を取得しているものの、林業に関する専門的な職歴はない。法執行機関や通関等と協力して違法伐採を取り締まる決意を表明しており、すでに大統領に有力違法伐採業者のリストを提出している。

#### ▼データ

【年齢】46歳(1958年4月5日生まれ)  
 【生地】北スマトラ州ビンジャイ  
 【政党】月星党(PBB):幹事長  
 【人種】ブギス人  
 【宗教】イスラム教  
 【学歴】1990:ボゴール農科大学(IPB)修士号取得  
 【経歴】複数のイスラム団体の幹部やメンバーを歴任後、PBB幹事長。傍ら、ジャカルタとボゴールの大学で定期的に教鞭を執ってきた。

#### ■海洋・水産相

Minister of Maritime and Fisheries

フレディ・ヌンベリ(退役海軍中將)

Vice Adm (ret) Freddy Numberi

ユドヨノ内閣で唯一人のパプア人閣僚。様々な海洋・海底資源が眠る広大な領海を持つインドネシアにとって、海洋・水産相は経済閣僚であると同時に安全保障戦略上も重



要なポストである。退役軍人である同(フレディ)氏の起用はそうした含みもあるとみられる。

\*パプア人でインドネシア国軍の将官クラスに始めて昇進した。閣僚に就任(ワヒド内閣の国家行政改革担当国務相)した最初のパプア人でもある。イリアン・ジャヤ州(現パプア州)知事、駐イタリア大使なども歴任。

#### ▼データ

【年齢】57歳(1947年10月15日生まれ)  
 【生地】パプア州セルイ  
 【人種】パプア人  
 【宗教】キリスト教(プロテスタント)  
 【学歴】1968:海軍士官学校卒、71:海軍特別課程(スラバヤ)修了  
 【経歴】(イリアン・ジャヤ州:当時)ジャヤプラ海軍基地司令官、1998:[4月]イリアン・ジャヤ州(当時)知事、99:[10月](ワヒド内閣)国家行政改革担当国務相(-2000:[8月])、のち(メガワティ政権)駐イタリア・マルタ共和国大使  
 2004:[10月21日](ユドヨノ内閣)海洋・水産相  
 【家族】アンナ(Anna Antoinette)夫人  
 【横顔】ハビビ政権時代に制定されたイリアン・ジャヤ州(当時)の3州分割案(「1999年法律第45号」)には当初から反対の意を表明してきた(分割案の法的根拠に関しては、分割に反対する政治家、有識者、宗教界代表が憲法裁判所に提訴したため、現在まで紛糾している)。

#### ■労働・移住相

Minister of Manpower and Transmigration

ファフミ・イドリス

Fahmi Idris

98年成立のハビビ政権で労働相を務めたことがあり、ユドヨノ政権で同じポストに復帰した。在マレーシア不法労働者の帰国問題やメガワティ前政権下で悪化した労使関係などの課題解決に果敢に取り組む決意を表明している。

\*ゴルカル党副党首だったが、メガワティ大統領候補(当時)支持の党決議に造反して、大統領選挙では早くからユドヨノ候補(現大統領)支持の活動を展開したために9月下旬に党を除名された。スハルト政権時代の(旧)ゴル

カルでも中央執行委員を務めた有力政治家で「コデル・グループ」総帥という実業家の顔もある。

▼データ

【年齢】61歳(1943年9月20日生まれ)  
 【生地】ジャカルタ首都特別州  
 【政党】元ゴルカル党(Golkar)副党首  
 【人種】ミナンカバウ人  
 【宗教】イスラム教  
 【学歴】1962: インドネシア大学(U I)経済学部卒  
 【経歴】学生運動家、実業家、1993: (旧)ゴルカル中央執行委員(ビジネス・経済業務部長)、のちゴルカル党副党首、98: [5月](ハビビ内閣)労働相(-99: [10月])、「コデル(Kodel)・グループ」総帥  
 2004: [10月21日](ユドヨノ内閣)労働・移住相  
 【家族】カルティニ(Kartini Hasan Basri)夫人

■公共事業相 Minister of Public Works

ジョコ・キルマント  
 Djoko Kirmanto



「公共事業相」は、ワヒド、メガワティ両政権の「居住・地域開発相」に相当するポストで、ユドヨノ政権では両政権以前のスハルト、ハビビ政権で用いられた呼称に復帰した。同(ジョコ)氏は公共事業省入省以来、一貫して同省で勤務してきたテクノクラートで、文字通りの「実務型」人事。

▼データ

【年齢】61歳(1943年7月5日生まれ)  
 【生地】中ジャワ州パンギン  
 【人種】ジャワ人  
 【宗教】イスラム教  
 【学歴】1969: ガジャマダ大学(U GM)卒(土木工学)、77: (オランダ)デルフト大学(IHE-DELFT)工学修士号(土地・水部門開発)取得  
 【経歴】公共事業省建設企画部長、1997: 同省住居開発局長補佐、2001: 居住・地域インフラ省住居振興総局長  
 2004: [10月21日]公共事業相  
 【家族】スワルニンシ(Sri Suwarningsih)夫人との間に3子

■保健相 Minister of Health

シティ・ファディラ・スバリ(博士)  
 Dr Siti Fadilah Supari

心臓病学専門医師。インドネシア大学(U I)医学部講師。入閣はインドネシア第2のイスラム団体「ムハマディア」の推薦による。

▼データ

【年齢】54歳(1950年11月6日生まれ)  
 【生地】中ジャワ州スラカルタ(ソロ)

【人種】ジャワ人  
 【宗教】イスラム教

【学歴】1976: ガジャマダ大学医学部卒、96: インドネシア大学(U I)医学博士号(心臓病学)取得  
 【経歴】U I医学部心臓病学講師、1995: ハラパンキタ心臓病院医師(療法研究局長)(U I講師兼任)  
 2004: [10月21日]保健相  
 【家族】夫君はムハマド(Muhamad Supari)氏。子供3人。

■国民教育相 Minister of National Education

バンバン・スティブヨ(教授・博士)  
 Prof Dr Bambang Sudibyo

国民信託党(P AN)党首であるアミン・ライス前国民協議会(M P R)議長の盟友。1999年10月にワヒド内閣の財務相として初入閣。ユドヨノ内閣では、国民教育相として閣僚に返り咲いた。元来、学者肌であり、政界では経済閣僚よりも現職の方が適任との評がある。  
 \*30年以上に及ぶ職歴の大半は教職にあり、(アミン党首も講師を務めたことがある)ガジャマダ大学で経営学教授を務めてきた。

▼データ

【年齢】52歳(1952年10月8日生まれ)  
 【生地】中ジャワ州テマングン(Temanggung)  
 【政党】国民信託党(P AN): 副党首  
 【人種】ジャワ人  
 【宗教】イスラム教  
 【学歴】1977: ガジャマダ大学経済学部卒、80: 米ノース・カロライナ大学経営学修士号(MBA)取得、85: 米ケンタッキー大学博士号(経営学)取得  
 【経歴】1987: ガジャマダ大学教授(-2004)、1998: P AN結成に伴い党経済委員長、99: [10月](ワヒド内閣)財務相  
 2004: [10月21日](ユドヨノ内閣)国民教育相  
 【家族】レトノ(Retno Sunarminingsih)夫人との間に2男  
 【横顔】経済学者としての同(バンバン)氏の理論の根底には、ガジャマダ大学の学者に伝統的な貧困撲滅や零細企業の救済を重視する「公正な経済」の思想がある。ジョクジャカルタを拠点にする「戦略・政策研究センター」理事やイスラム団体「ムハマディア」の執行委員などを歴任。敬虔なイスラム教徒でもある。

■社会相 Minister of Social Affairs

バクティアル・ハムシャ  
 Bachtiar Chamsyah

イスラム主義政党・開発統一党(P P P)幹部(イスラム同胞組織[Parmusi]系)で元副幹事長。01年8月のメガワティ前政権成立時に現職に就任し、ユドヨノ内閣でも留任。ソフヤン通信・情報担当国務相と同じアチェ人閣僚(現内閣でのアチェ人は2人)。現職就任に当って、地方マイクロクレジット機関に無担保融資資金を供与する方針を表明。

\*元ジャーナリスト。北スマトラ州議会議員から1992年に国会議員。

▼データ

【年齢】58歳(1945年12月31日生まれ)  
 【生地】ナングル・アチェ・ダルサラーム州シグリ  
 【政党】開発統一党(P P P)  
 【人種】アチェ人  
 【宗教】イスラム教  
 【学歴】ノーメンセン大学会計学部中退、1997: メダン国立大学会計学部卒  
 【経歴】1982: 北スマトラ州議会議員、87: (メダン)週刊「DEMI MASA」編集局次長、92: 国会議員(P P P)(-2004)、93: P P P副幹事長(-03)、01: [8月](メガワティ内閣)社会相  
 2004: [10月21日](ユドヨノ内閣)社会相に再任  
 【活動】イスラム同胞組織(Parmusi)会長  
 【家族】ロシダ(Rashidah MS)夫人との間に3子  
 【横顔】2000年にワヒド大統領(当時)の汚職疑惑が浮上した当初から追及の先頭に立った。メガワティ内閣での初入閣はその功績に報いる意味もあったとみられる。

■宗教相 Minister of Religious Affairs

マフトゥ・バスユニ  
 Muhammad Maftuh Basyuni

前駐サウジアラビア大使。今年のイスラム諸国会議機構(O I C)閣僚級会合ではインドネシア代表団長を務めた。

▼データ

【年齢】65歳(1939年11月4日生まれ)  
 【生地】中ジャワ州レンバン  
 【人種】ジャワ人  
 【宗教】イスラム教  
 【学歴】1968: (サウジアラビア)メディナ・イスラム大学卒  
 【経歴】1976: 駐サウジアラビア大使秘書官(-79)、駐クウェート大使、(スハルト)大統領首席補佐官、2001: [6月](ワヒド内閣)国家官房長官(非閣僚)、02: 駐サウジアラビア大使(-04)  
 2004: [10月21日](ユドヨノ内閣)宗教相  
 【家族】子供4人

国務大臣(State Ministers)

□文化・観光担当国務相

State Minister of Culture and Tourism  
 ジェロ・ワチク  
 Jero Wacik

ユドヨノ大統領が属している民主党(P D)と与党連合「人民連合」の中核政党: 国会55議席の副幹事長で、大統領選挙では同党バリ支部ユドヨノ候補選対リーダーだった。閣内唯一人のヒンズー教徒。

▼データ

【年齢】55歳(1949年4月24日生まれ)  
 【生地】バリ州シンガラジャ  
 【政党】民主党(P D): 副幹事長

【人種】バリ人

【宗教】ヒンズー教

【学歴】1974：バンドン工科大学(I T B)卒、83：インドネシア大学(U I)経済学部卒

【経歴】1974：「ユナイテッド・トラクターズ(U nited Tractors)」社(自動車大手「アストラ・インターナショナル」社の子会社)アシスタント・セールス・マネジャー、のち政府関連セールス・マネジャー、90：「グイヤ・バトゥ・ブルシナル(Grya Batu Bersinar)社」取締役会長の他、観光関連数社の代表取締役  
2004：[10月21日]文化・観光担当国務相

【家族】トゥリスナ(Triesna)夫人との間に1男3女

## □研究・技術担当国務相

State Minister of Research and Technology  
クスマヤント・カディマン(教授・博士)  
Prof Dr Kusmayanto Kadiman



システム工学の専門家で前バンドン工科大学(I T B)学長。

### ▼データ

【年齢】50歳(1954年5月1日生まれ)

【生地】西ジャワ州バンドン

【人種】ジャワ人

【宗教】イスラム教

【学歴】1988：オーストラリア国立大学博士号(システム工学)取得

【経歴】1980：バンドン工科大学(I T B)・大学院講師(のちに教授)、2001：[10月] I T B学長(-04)

2004：[10月21日]研究・技術担当国務相

【家族】スマルニ夫人(Sri Sumarni)夫人との間に3子

## □協同組合・中小事業担当国務相

State Minister of Cooperatives and Small-Medium Enterprises  
スルヤダルマ・アリ  
Suryadharma Ali

(スーパーマーケット大手)「ヘロー・グループ」幹部から開発統一党(P P P)国会議員(ナフダトゥル・ウラム [N U] 系)を経て現職。

### ▼データ

【年齢】48歳(1956年9月19日生まれ)

【生地】ジャカルタ首都特別州

【政党】開発統一党(P P P)：副党首

【宗教】イスラム教

【学歴】1984：シャリフ・ヒダヤトゥラ国立イスラム大学卒

【経歴】1985：「ヘロー・グループ」勤務(最終ポストは副ディレクター)、P P Pに参加、99：国会(D P R)議員、2001：D P R第5委

員会委員長(-04)

2004：[10月21日]協同組合・中小事業担当国務相

【家族】子供4人

## □環境担当国務相

State Minister of the Environment  
ラフマト・ウィトラル

Rachmat Nadi Witoelar Kartaadipoetra

スハルト政権下でゴルカル(ゴルカル党の前身)幹事長に就任したこともあるベテラン政治家で、93年からは駐ロシア大使も務めた。ユドヨノ大統領のブレインの1人。

### ▼データ

【年齢】63歳(1941年6月2日生まれ)

【生地】西ジャワ州タシクマラヤ

【人種】スダ人

【宗教】イスラム教

【学歴】1970：バンドン工科大学(I T B)卒

【経歴】1972：国会(D P R)議員(-93)、1988：ゴルカル幹事長、1993：駐ロシア・カザフスタン・トルクメニスタン・モンゴル大使(-97)

2004：[10月21日]環境担当国務相

【家族】エルナ(Erna Anastasia)夫人との間に3子

## □女性エンパワーメント担当国務相

State Minister of the Women's Empowerment  
ムティア・ファリダ・ハッタ・スワソノ(博士)  
Dr Meuthia Farida Hatta Swasono

ハッタ初代副大統領の娘。インドネシア大学(U I)人類学部講師などを経て現職。エディ・スドラジャト元国防・治安相(退役陸軍大将)が創設した民族主義政党、正義統一党(P K P I)：国会1議席に所属している(P K P Iは与党連合「人民連合」の構成政党)。

### ▼データ

【年齢】57歳(1947年3月21日生まれ)

【生地】ジョクジャカルタ特別州

【政党】正義統一党(P K P I)

【人種】ミナンカバウ人

【宗教】イスラム教

【学歴】1991：インドネシア大学(U I)博士号(人類学)取得

【経歴】1984：U I人類学部講師、03：[12月]文化・観光担当国務相府文化保存振興担当次官

2004：[10月21日]女性エンパワーメント担当国務相

【活動】2002：ハッタ財団総裁(-05)、社会省国民福祉諮問フォーラム議長

【家族】夫君はエディ(Sri Edi Swasono)教授・博士

## □国家機関活性化担当国務相

State Minister of the State Apparatus Efficiency  
タウフィク・エフェンディ(退役警察准将)  
Pol Brig Gen(ret)Taufik Effendi

現職は元来、行政改革が主な任務だが、元警察高官の同(タウフィク)氏には国家機関業



務の効率化を妨げている汚職撲滅に辣腕を振るうことも期待されている(ただ、国家機関活性化担当国務相というポストにその点では多くは望めないとの見方もある)。

### ▼データ

【年齢】63歳(1941年4月12日生まれ)

【生地】南カリマンタン州バラバイ(Barabai)

【政党】民主党(P D)：副幹事長

【宗教】イスラム教

【学歴】(米ワシントンD C)国際警察学校(International Police Academy)訓練課程、1993：ジャババヤ大学経営学修士号(M B A)取得

【経歴】1977：麻薬捜査官(米麻薬取締局 [D E A]と連携)、警察情報局員、トロント総領事、国家警察本部専門参謀、2004：[4月総選挙]国会議員(P D：南カリマンタン州)

2004：[10月21日]国家機関活性化担当国務相

## □国家開発計画担当国務相／国家開発庁

(Bappenas)長官

State Minister of National Development Planning  
/ Chairperson of the National Planning Agency  
スリ・ムルヤニ・インドラワティ(博士)  
Dr Sri Mulyani Indrawati



ユドヨノ政権の組閣段階では、財務相の有効候補として名前が挙がったが、与党連合を構成するイスラム主義政党の福祉正義党(P K S)と月星党(P B B)から「親西欧」、「親 I M F」に過ぎるとして激しい反対があったために、最終的に現職への就任に落ち着いた。就任に際して、①成長率アップのための投資環境の改善、②マクロ経済の安定化、③開発計画策定のための省庁間調整などを基本方針として表明した。

\*2002年から国際通貨基金(I M F)東アジア代表理事を務め、日本も含めた先進諸国の政治家・官僚からインドネシアを代表する女性エコノミストとして評価されてきた。一方で、斬新な国家開発計画を策定できるほどの政治力はないとする厳しい評価も内外の経済専門家の一部にはある。

### ▼データ

【年齢】42歳(1962年8月26日生まれ)

【生地】ランブン州タンジュンカラ

【人種】ジャワ人

【宗教】イスラム教

【学歴】1986：インドネシア大学(U I)経済学部卒、1990：米イリノイ大学修士号(経済学)取得、92：同大学経済学博士号取得

【経歴】1985：U I 経済学部助教授・教授(ー2004)、90：イリノイ大学助教授(ー92)、98：U I 社会経済研究所(L P E M)所長(ー2004)、99：(ワヒド政権)国家経済評議会委員、2001：米国際開発局(U S A I D)コンサルタント(アトランタ)、02：国際通貨基金(I M F)東アジア代表理事(ー04)

2004：[10月21日] 国家開発計画担当国務相

【家族】夫君はトニー・スマルトノ(Tonny Sumartono)氏。子供3人。

【横顔】1998年のアジア経済危機の当初はI M Fの融資条件に強く抗議していたが、次第に「I M F寄り」になっていった。同(スリ・ムルヤニ)氏を批判する勢力はそうした「変節」にも不信感を抱いているようだ。

#### □後進地域開発促進担当国務相

State Minister for the Accelerated Development of Less-Developed Regions

サイフラ・ユスフ

Saifullah Yusuf

学生運動指導者、ジャーナリストを経て1999年から国会(D P R)議員。インドネシア最大のイスラム団体、ナフダトゥル・ウラマ(N U)の青年部(A n s o r)議長。民族覚醒党(P K B)幹事長。最年少閣僚。

#### ▼データ

【年齢】40歳(1964年8月28日生まれ)

【生地】東ジャワ州パスルアン

【政党】民族覚醒党(P K B)：幹事長

【人種】ジャワ人

【宗教】イスラム教

【学歴】1985：(ジャカルタ)ナショナル大学(U N A S)政治・社会科学部卒

【経歴】タブロイド紙「デティク(Detik)」記者、起業家、1999：[6月総選挙]国会(D P R)議員(闘争民主党[P D I - P])、2002：P D I - Pを離党、P K Bに参加(のちに同党幹事長)、2004：[4月総選挙]D P R議員(P K B)

2004：[10月21日]後進地域開発促進担当国務相

【歴任】イスラム学生同盟(H M I)ジャカルタ支部長、ナフダトゥル・ウラマ(N U)青年部(A n s o r)議長

【家族】ウム・ファトゥマ(Umu Fatma)夫人との間に3子

#### □国営企業担当国務相

State Minister of State Enterprises

スギハルト

Sugiarto

米バンカーズトラストに9年間勤務した後、M e d c oグループの財務担当幹部。同グループの最近の成長は同(スギハルト)氏の手腕によるところが大きい。現職就任に当たって、国営企業のリストラ、利益向上、民営化推進の方針を表明した。開発統一党(P P P)

党員。

#### ▼データ

【年齢】49歳(1955年4月29日生まれ)

【生地】北スマトラ州メダン

【政党】開発統一党(P P P)

【人種】ジャワ人

【宗教】イスラム教

【学歴】1986：インドネシア大学(U I)経済学部卒、(オランダ)アムステルダム大学経営学修士号(M B A)取得

【経歴】(米ニューヨーク)ケミカル・バンク/バンカーズトラスト社勤務、1991：(帰国後)M e d c oエネルギー・インテルナショナル(Energi Internasional)財務担当取締役

2004：[10月21日]国営企業担当国務相

#### □通信・情報担当国務相

State Minister of Communication and Information

ソフヤン・ジャリル(博士)

Dr Sofyan A. Djailil



アチェの農家出身。米タフツ大学から国際経済・金融分野の博士号を取得したのをはじめ、法学や外交など複数の学位を取得した博学。大手企業の通信・情報コンサルタントや国営企業監査役などを歴任。

#### ▼データ

【年齢】51歳(1953年9月23日生まれ)

【生地】ナングル・アチェ・ダルサラーム州ブルラク(Perlak)

【人種】アチェ人

【宗教】イスラム教

【学歴】1984：インドネシア大学(U I)法学修士号(S H)取得、89：米タフツ大学文学修士号(M A)取得、91：同大学修士号(M A L D：法律・外交)取得、93：同大学博士号(国際財政・資本市場法/政策)

【経歴】1993：U I 経済学部講師(ー2004)、カルテックス・パシフィック社など複数企業の通信・情報コンサルタント、ソフヤン・ジャリル&パートナーズ代表取締役(ー04)、99：国営電力会社(P L N)監査役(ー02：[5月])、03：[5月]国営キミア・ファルマ社監査役

2004：[10月21日]通信・情報担当国務相

【家族】ラトナ(Ratna Megawangi)夫人との間に3子

#### □青年・スポーツ担当国務相

State Minister of Youth Affairs and Sports

アジャクサ・ダウルト

Adyaksa Dault

青年運動家出身で、閣僚ではサイフラ後進地域開発促進担当国務相に次いで若い。入閣には福祉正義党(P K S)の推薦があった。国

家スポーツ評議会(K O N I)と連携して各種スポーツの専門化と技術向上を図る方針を打ち出している。

#### ▼データ

【年齢】41歳(1963年6月7日生まれ)

【生地】中スラウェシ州ドンガラ

【政党】福祉正義党(P K S)〈推薦〉

【宗教】イスラム教

【学歴】インドネシア大学(U I)修士号取得(政治・社会科学)、ボゴール農科大学(I P B)博士課程(海洋学：在学中)

【経歴】1999：インドネシア全国青年委員会(K N P I)委員長(ー2002)、インドネシア法律顧問同盟(I P H I)議長(ー04)、ダウルト&アソシエーツ事務所法律コンサルタント

2004：[10月21日]青年・スポーツ担当国務相

【家族】ミラ(Mirah Arismunandar)夫人との間に2子

#### □国民住宅担当国務相

State Minister of Public Housing

ユスフ・アシャリ

Muhammad Yusuf Ashari

財務省官僚から大手企業役員に転じた。福祉正義党(P K S)幹部。現職就任の抱負として、低所得層向け公共住宅100万戸建設計画の続行を表明。

#### ▼データ

【年齢】59歳(1945年10月21日生まれ)

【生地】中ジャワ州マゲラン

【政党】福祉正義党(P K S)：諮問委員

【宗教】イスラム教

【学歴】(ジャカルタ)ムハマディア大学修士号(行政学)取得

【経歴】1977：財務省職員、1985：「ピマンタラ・グループ」監査役、2001：民間テレビ局「ラジャワリ・チトラ・テレビシ・インドネシア(R C T I)」相談役(ー02)、P K Sに参加

2004：[10月21日]国民住宅担当国務相

(アジア・リンケージ 勝田 悟)

#### 〈お詫びと訂正〉

・前号(2004年11月15日号)の本欄(解説文)で、「(ユドヨノ内閣で)公共事業省が新設された」とありますが、同省はワヒド、メガワティ両政権の「居住・地域開発(インフラ)省」に相当するもので「新設された」という記述は不正確でした。お詫びし訂正いたします。